

生活排水処理事業特別会計

平成30年度みやま市生活排水処理事業特別会計決算に係る主要な施策の成果

し尿と生活雑排水を併せて処理し、窒素を除去処理する高度処理型の浄化槽の設置を推進することにより、住環境の改善と公共用水域の水質汚濁の防止を目的として、平成18年度より浄化槽市町村整備推進事業を実施しています。平成30年度は、135基の浄化槽を設置しました。

平成30年度みやま市生活排水処理事業特別会計の決算の状況及び主要な施策の成果は次のとおりです。

歳入決算額	454,874,693 円
歳出決算額	447,915,585 円
歳入歳出差引額	6,959,108 円
翌年度へ繰越すべき財源	3,411,000 円
実質収支額	3,548,108 円

歳入総額は、454,874,693円であり、前年度より12,336,649円の増加となっています。

歳出総額は、447,915,585円であり、前年度より10,407,528円の増加となっています。

平成30年度 歳入歳出決算の状況

(単位：円、%)

歳 入			歳 出		
予 算 科 目	決 算 額	構 成 比	予 算 科 目	決 算 額	構 成 比
1 分担金及び負担金	21,134,000	4.7	1 総務費	32,268,109	7.2
2 使用料及び手数料	211,402,488	46.5	2 施設管理費	205,995,204	46.0
3 国庫支出金	53,307,000	11.7	3 施設整備費	165,169,506	36.9
4 県支出金	10,639,000	2.3	4 基金積立金	10,701,218	2.4
5 財産収入	62,218	0	5 公債費	33,781,548	7.5
6 繰入金	98,200,000	21.6	6 予備費	0	0
7 繰越金	5,029,987	1.1			
8 諸収入	0	0			
9 市債	55,100,000	12.1			
歳 入 合 計	454,874,693	100.0	歳 出 合 計	447,915,585	100.0

前年度との比較

歳 入

(単位：円)

予 算 科 目	平成30年度決算額	平成29年度決算額	比 較
1 分担金及び負担金	21,134,000	22,723,000	△1,589,000
2 使用料及び手数料	211,402,488	202,660,336	8,742,152
3 国庫支出金	53,307,000	77,600,000	△24,293,000
4 県支出金	10,639,000	10,093,000	546,000
5 財産収入	62,218	45,661	16,557
6 繰入金	98,200,000	89,082,000	9,118,000
7 繰越金	5,029,987	5,073,339	△43,352
8 諸収入	0	1,260,708	△1,260,708
9 市債	55,100,000	34,000,000	21,100,000
歳 入 合 計	454,874,693	442,538,044	12,336,649

歳 出

(単位：円)

予 算 科 目	平成30年度決算額	平成29年度決算額	比 較
1 総務費	32,268,109	30,521,929	1,746,180
2 施設管理費	205,995,204	197,472,687	8,522,517
3 施設整備費	165,169,506	168,011,608	△2,842,102
4 基金積立金	10,701,218	10,138,661	562,557
5 公債費	33,781,548	31,363,172	2,418,376
歳 出 合 計	447,915,585	437,508,057	10,407,528

歳 入

歳入予算科目別決算の状況は、次のとおりです。

分担金及び負担金

平成30年度の分担金は、現年度分が20,471,000円、過年度分が663,000円で総額が21,134,000円となっています。前年度との比較としましては、1,589,000円の減少となっています。

使用料及び手数料

平成30年度の浄化槽使用料は、現年度分が210,636,936円、過年度分が725,352円、手数料が40,200円で総額が211,402,488円となっています。前年度との比較としましては、8,742,152円の増加となっています。これは、浄化槽の管理基数が増加したことによるものです。

国庫支出金

平成30年度の国庫交付金は、53,307,000円となっています。前年度との比較としましては、24,293,000円の減少となっています。

県支出金

平成30年度の県補助金は、補助対象事業費（50人槽まで）の7.5%で、10,639,000円となっています。

財産収入

平成30年度の基金積立金利子は、62,218円となっています。

繰入金

平成30年度の繰入金は、98,200,000円となっています。前年度との比較としましては、9,118,000円の増加となっています。

繰越金

平成30年度の繰越金は、5,029,987円となっています。前年度との比較としましては、43,352円の減少となっています。

諸収入

平成30年度の諸収入は、消費税が納付申告になったためありません。

市債

平成30年度の下水道債は、国庫補助対象事業費から国庫交付金及び分担金を控除した額に対しての起債額となり55,100,000円となっています。

歳 出

歳出予算科目別決算の状況は、次のとおりです。

総務費

総務費は、人件費、事務費が主な支出で総額 32,268,109円となっています。

● 施設管理費

〔目的〕

浄化槽の定期的な点検をし、適正な維持管理を行うことにより、公共用水域の水質保全及び環境衛生の向上を目的とするものです。

〔成果〕

施設管理費は、浄化槽の維持管理委託料が主な支出で総額 205,995,204円となっています。一括管理することにより浄化槽の適正管理を行い、生活雑排水の処理を適正に行うことができました。

● 施設整備費

〔目的〕

浄化槽を整備することで、公共用水域の水質保全及び環境衛生の向上を目的とするものです。

〔成果〕

施設整備費は、浄化槽工事費、7条検査手数料が主な支出で総額 165,169,506円となっています。し尿と生活雑排水を併せて処理し、窒素を除去処理する高度処理型の浄化槽を推進することにより、住環境の改善と公共用水域の水質汚濁の防止に寄与することができました。

○ 平成30年度生活排水処理事業の実施状況

(1) 工事請負費

工 事 名	工事費	主な工事内容
浄化槽設置工事	161,974,080	設置基数 (135基)
		5人槽 73基
		7人槽 53基
		10人槽 4基
		21人槽 1基
		24人槽 2基
		40人槽 1基
		50人槽 1基

基金積立金

基金積立金は、県補助金及び基金利子10,701,218円を浄化槽整備推進基金積立金に積み立てるものです。

公債費

公債費は、起債償還元金が21,040,530円、起債償還利子が12,741,018円で総額が33,781,548円となっています。